

はねっと 8

仙台市市民活動サポートセンター通信 ばれっと

“ばれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



市民活動団体を紹介
「市民活動
突撃レポート!」

ストーリーを知って、身近な
建築物に愛着を持ってみませんか

ローカルプレイシズ

すがわら まいこ

「Local Places」は宮城県出身の建築家、菅原麻衣子さんが2021年に立ち上げた団体で、建築家や研究者で構成されています。建築物を見学するイベントの開催を活動の柱とし、2022年には県内の建築物を紹介する『SENDAI/MIYAGI The Architecture Map 仙台/宮城 建築マップ』も発行しました。大切にしているのは、市民が実際に建築を見て体験できる機会を作ること、設計の意図や歴史といった建築物の持つストーリーを伝えることです。

2019年、宮城県が宮城県美術館を他施設と集約移転する案を発表したことに対し、現地存続を願う市民運動が起こりました。菅原さんがLocal Placesの活動の必要性について考えるようになったのは、この運動に参加した際の出来事がきっかけです。宮城県美術館は、地元の芸術家たちからなる「宮城県芸術協会」が開催したチャリティー展の売り上げ、約2,000万円の寄付を受けて建てられた歴史があります。しかし、建築家である菅原さんでも、運動に参加するまで建てられた経緯を知りませんでした。「どんな建築物でもストーリーを知ると愛着が生まれる。建築物の魅力が市民に広く知られていないと、使い続けて守っていく感覚が育まれないのでは」という気づきが、活動の原点です。

2025年3月、Local Placesが主催した「建築を『見る・知る・学ぶ』スタディツアー」には、38名が参加しました。見学先は、仙台藩の時代からの歴史があり、現在は迎賓館として使用される宮城県知事公館です。参加者からは「なんの施設かわからなかったけど、前を通るたびに気になっていたから、知れてよかった」という声がありました。「建築物を現地で見て、大きさや香り、日当たり、居心地など、空間を体験してほしい」とほほえむ菅原さん。今後も建築物を見学するイベントを計画しています。



▲仙台市青葉区広瀬町にある宮城県知事公館

Local Places

Mail localplaces.project@gmail.com

HP▶





活動を始める一歩を応援「コトハジメ」

小さく生まれた赤ちゃんとその親を、温かいエールで包もう！

2,500グラム未満で生まれた低体重の赤ちゃんたちに、ぴったり合う肌着を贈る活動を応援しませんか？一般社団法人くるむは、医療機関や行政と連携し、量販店には出回っていない低出生体重児のための肌着を届ける活動を行っています。この取り組みを多くの人と後押しするため、2021年に結成されたのが「くるむの小さな応援団」です。月額500円以上の寄付で、誰でも団員として活動を応援できます。約1,500円の寄付が集まれば、肌着1枚を届けることが可能です。

低出生体重児は、生まれるとすぐにNICUと呼ばれる新生児集中治療室に入院することがほとんどで、多くの赤ちゃんは裸にオムツだけをつけた状態で過ごします。また、赤ちゃんの親は出産直後か

ら赤ちゃんと離ればなれになり、わずかな時間しか触れ合うことができません。代表の佐藤里麻さんは、「特にお母さんは、我が子を見ていることしかできない自分を責めたり、周囲に不安を話せず孤独に陥ったりしやすい」と話します。親が赤ちゃんのための肌着を手に入れることで、洗濯し、干す、といったお世話ができ、赤ちゃんの存在を身近に感じたり、退院を待つ間の救いになったりすることも。あなたのエールが、「面会」を「子育て」に変える取り組みの支えになります。



くるむの
小さな応援団



▲HP



活動を支える、人、モノ、こと「募集して」

外国コインの寄付で、世界の子どもたちの命と健康を守ろう

海外旅行や出張に行った際に使い残した外国コインや紙幣を持っていますか？宮城県ユニセフ協会では、自宅や財布の中に眠っている外国コインや紙幣を集めています。集めたコインと紙幣は、通貨別に仕分けされ、世界各国、特に途上国の子どもたちの予防接種、栄養治療食の提供などに活用されます。個人としてだけでなく、企業の社会貢献活動としても気軽にできるボランティア活動です。コインと紙幣は、団体へ送付する他、最寄りの専用募金箱に入れてください。

送付先・問合せ

宮城県ユニセフ協会

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協文化会館ウイズ内

TEL 022-218-5358 / FAX 022-218-5945 (月～金10:00～16:00 ※土・日・祝は休み)



▲HP

専用募金箱の設置場所

- ・県内のみやぎ生協店舗
- ・仙台空港国際線の税関検査場 (帰国時荷物を受け取るフロア)



▲みやぎ生協の募金箱例

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 8月13日(水)、27日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者：特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター)

発行日 2025年8月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

